

- A パチンコ店（地域限定）の巡回サービスがあるが経路拡大してもらおう。（道沿いなら何の目的で利用しても可）
 病院やデイの送迎車、持ち回りでもいいので活用してほしい。
 商店街の取り込み、商店街で買い物できるような車出しとかしてほしい。
 ⇒参画することで企業も福祉が見える効果を狙える。
- B 近隣の人の善意が重荷、裏目になる→金銭トラブルに発展する
 配食サービスでちょこっと買って来てくれる
 墨田区、250円の配食→訪問介護の家事
 ローソンと薬局が一緒になっている店では薬剤と一緒に商品お届け
- C あったかサポート（社協）条件あり
 ほがらかネットワーク（ボランティアセンター）ボランティア登録してる人500人以上いる、職員がコーディネートする
 医療機関側の移送
 買ったものを届けてくれる
 スーパーの移動販売
- D 通院の時に院内介助が介護保険が使えないので、院内ボランティアがいるといい（大学病院はある）
 ほがらかネットワークに院内介助をお願いしている。（年会費あり 1時間800円）
 中学生の学校教育でボランティアやってくれと助かる。授業に入っているといいのでは？買物も
 高校生、大学生など→単位などに繋がるようにする
 高齢者は見て買いたいっていうのもある
 移動販売は過疎地域でやってるが、足立区内でもできないか
 セブンイレブンのネットスーパーは電話しないと配達できない、手配も面倒→そこをボランティアなどでできるか
 大学病院（遠方へ）の通院
- E 院内ボランティアがいる病院もあるがあてにならない
 ボランティアもなかなかお金がかかる
 介護タクシー「そこまで必要ない」「値段が高い」
 外出支援は自費にすることが多い
 近くに店がない（衣服や寝具が買えない）
 団地に月一回、近くの商店が出張販売をしてくれる
 セルフレジに困る高齢者が多い
- F 通院、院内介助、自費は時間の書かつと高額になる
 通院介助だとヘルパーが時間がかかり派遣が難しい
 ケアマネジャーとヘルパーが直接連携を取って情報を共有できたらいい
 ケアマネジャーが通院に付き添うケースがある
 遠い病院への通院される、困る
 駒込病院には院内ボランティアがいる→いつ、いるのか、わからない、予約はできない
 院内は原則病院がする
 院内介助の必要時は医師や病院へ文章を求める→院内介助を介護保険でする
 住区センター・サロンに行かせたいが、本人の歩行が心配で送迎がないので行かれない→日立交通の利用ができればいい
- G 配食弁当が高い（二食取るお金がない）→補助があると活用する人も多いと思う
 外出：認知症の方のボランティアがない（散歩等）
 徘徊防止の為のお散歩ボランティアがいるといい
 通院待ち時間が自費で困る、主介護者が対応できるなら、主介護者対応してほしい
 院内対応を病院で行ってくれるといい
- H 公的手続の支援の付き添い ボランティアに頼むと事故が心配
 院内付き添い
 ふれあいサロン、一人で行けない
 遠い病院、大学病院→自費ヘルパー→経済的負担
 楽しみのための外出（お金があれば）
 旅行会社→介護タクシーで一泊温泉
 介護タクシーで家族で花見
- I 銀行に行けない（ご本人が暗証番号を忘れてしまう）→指紋認証にできないか
 実現可能なインフォーマルサービス
 外食
 傾聴ボランティア
 散歩支援ボランティア（犬のレンタル）犬を飼っている地域住民が、犬をレンタルして閉じこもりがちな高齢者の散歩支援を行う。
 銀行の家庭訪問んが欲しい→作ってくれないか
 電化製品が買えない→出張家電販売の構築→電化製品を扱っている店舗が出張家電販売があればいい

J 専門性が無い部分あり何かあった時の責任は？

通院介助…院内、介護保険自費になる

外出…床屋→障害で対応してもらえた（月5時間以内）

住区センター・ゆうゆう館（高齢者）→高齢者の居場所

K 東伊興クリニック、玄クリニック、井上病院 通院、自治体で予算組んでいる

タクシーつかまらない（最近）通院のため

買物難民について（コンビニ）

節約したい地域制問題